

要約書作成の ポイント

平成28年度 特許庁

1 要約書の概要

2 要約書作成のポイント

2-1 様式についての注意事項

2-2 内容についての注意事項

3 技術分野別のポイント

(1) 機械分野

(2) 化学分野

(3) 電気分野

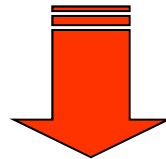
要約書とは

要約と選択図とからなり、
発明の特徴をわかりやすくまとめたもの

要約書は権利範囲の解釈には
一切用いられない

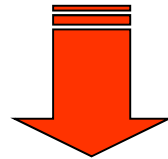
要約書の必要性とその効果

- 特許公報等の累増
- 発明内容の高度化・複雑化



要約及び選択図を利用すれば
発明の概要を迅速・的確に把握できる

外国特許庁の審査官は、英文に翻訳された要約及び選択図を審査資料として利用している（（注）PAJ p1）。特に、PCTでは、最小限資料のうちの1つとされている。



要約書の質を高めることにより、外国で第三者によって同じ発明を特許取得される問題を未然に防ぐことにつながる。

※最小限資料（ミニマムドキュメンテーション）・・・国際調査機関が国際調査報告等を作成する際に先行技術文献調査をする最小限の資料の範囲

公開特許公報の例

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2006-123456

(P2006-123456A)

(43) 公開日 平成18年2月13日(2006.2.13)

(51) Int. Cl.

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

F I

G 0 3 G 15/20 109

テーマコード (参考)

2 H 0 3 3

審査請求 有 請求項の数 2 OL (全7頁)

(21) 出願番号 特願2004-123456

(22) 出願日 平成16年8月10日(2004.8.10)

(71) 出願人 290001111

出願 太郎

(74) 代理人 987654321

弁理士 代理 太郎

(72) 発明者 発明 太郎

〒100-0001 東京都千代田区千代田24丁目1番1号

03-XXXX-XXXX

説明文

代表図面

(54)【発明の名称】画像形成装置に用いる定着装置

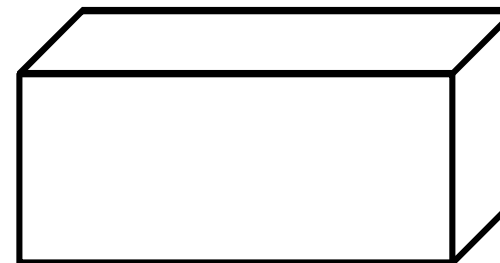
(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 ○○○○○○○。

【解決手段】 ○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

【選択図】 図 1



1 要約書の概要

P11

PAJの公開の例 (Espacenet)

Europäisches Patentamt
European Patent Office
Office européen des brevets

Espacenet
Patent search

コンタクト
国の変更

← についてEspacenet その他のEPOのオンラインサービス

検索 Result list マイパテントリスト (0) クエリの履歴 設定 Help

検索変更 → Results → JP2011243891 (A)

JP2011243891 (A)

書誌事項
詳細
請求項
モザイク
原文献
Cited documents
Citing documents
INPADOCのリーガルステータス
INPADOC Patent Family

クイックヘルプ

- What is meant by high quality text as facsimile?
- 「本...」として公表したというリストの中のEP出版番号の後に書かれている A1 A2 A3 および B の意味は何ですか。
- What happens if I click on "In my patents list"?
- What happens if I click on the "Register" button?
- なぜある文献へアクセスできないのかのタブは非活性化されましたか。
- How can I bookmark this page?
- なぜ「本...」として公表されたという権限の下で文庫のリストに追加されるか、また、これらの文庫が何ですか。
- What is Global dossier?
- なぜ、時々対応する文庫の格差を伴うのですか。
- What happens if I click on the red "patent translate" button?

書誌事項: JP2011243891 (A) — 2011-12-01

★マイパテントリストへ Global Dossier Report data error 印刷

QUANTUM DOT SEMICONDUCTOR OPTICAL AMPLIFIER

Page bookmark JP2011243891 (A) - QUANTUM DOT SEMICONDUCTOR OPTICAL AMPLIFIER

発明者:

出願人 NAT INST OF ADV IND & TECHNOL

分類: ~国際: H01S5/343; H01S5/50
- cooperative:

出願番号 JP20100116932 20100521

優先権主張番号: JP20100116932

要約 JP2011243891 (A)

Albanian patenttranslate powered by EPO and Google

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an optical amplifier which is capable of amplifying a narrow band for a 1.3 [μm] band desired for high-speed optical communication. SOLUTION: An optical amplifier is a semiconductor optical amplifier for a narrow band equal to or less than a half-value width of 30 nm for a 1.3 [μm] band, by providing a quantum dot structure consisting of over an N-GaAs substrate 1, an N-AlGaAs clad layer 2, a quantum dot active layer 3, a P-AlGaAs clad layer 4, and a P-GaAs contact layer 5 in the order and by constituting the active layer 3 with uniform quantum dots. By injecting current, a wavelength other than a gain wavelength can be attenuated and a deflection state can be switched. COPYRIGHT: (C)2012, JPO&INPIT

5
4
3
2
1

7

アクセスガイド 法的通知 利用規約 最終更新日: 2011年12月05日 世界データベース 5.8.23; 92p

1 要約書の概要

2 要約書作成のポイント

2-1 様式についての注意事項

2-2 内容についての注意事項

3 技術分野別のポイント

(1) 機械分野

(2) 化学分野

(3) 電気分野

2-1 様式についての注意事項

●項分け記載

- 【書類名】、【課題】等、隅付き括弧【】を使用する。
- 見出し【書類名】、【要約】、【選択図】を必ず記載。

●【要約】について

- 【要約】内の項分けは【課題】【解決手段】が一般的。
- 【要約】の次行の先頭から、【選択図】の前行の末尾までを400字以内とする（外国語要約書面についても同様。）。
- 項分け見出し（【課題】等）が変わる場合にのみ改行。

2-1 様式についての注意事項

● 【選択図】について

- 見出し【選択図】を使用し、【図1】等の【】で区切られた**1つの図面のみ**を使用する（図そのものは記載しない。）。
- 明細書や請求の範囲に記載の化学式、数式は選択不可。
- 選択図を用いない場合は、「【選択図】なし」と記載する（実用新案登録出願では、図面の選択が必須。）。
- 分図（図1-1等）があっても図面に記載の【】単位で選択する（【図1-1】となっているものを選択することは可能。）。

2 要約書作成のポイント

好ましくない例

- 隅付き括弧【】ではなく、角括弧[]を使用している。

- 項分け見出しが変わらないのに改行している。

- 【選択図】なる表現を用いていない。

- 複数の図面を選択している。

[書類名]要約書

[要約]

[課題]

磁気ヘッドの励磁電流が反転したあとに励磁電流が降下するのを防止して、光磁気記録媒体に安定した磁界を印加する。

[解決手段]

記録記号が「0」から「1」になると、スイッチ14がオフし、スイッチ15がオンする。すると補助コイル12に高い逆起電圧VAが発生し、このVAにより充電されるコンデンサC1は電源電圧Vcより高い電圧を保持する。

[参照図面]図1、2、3

2 要約書作成のポイント

好ましい例

• 隅付き括弧【】を使用している。

• 【課題】、【解決手段】等の項分け見出しの直後で改行していない。

• 【選択図】として一つの図面を選択している。

【書類名】要約書

【要約】

【課題】磁気ヘッドの励磁電流が反転したあとに励磁電流が降下するのを防止して、光磁気記録媒体に安定した磁界を印加する。

【解決手段】記録記号が「0」から「1」になると、スイッチ14がオフし、スイッチ15がオンする。すると補助コイル12に高い逆起電圧VAが発生し、このVAにより充電されるコンデンサC1は電源電圧Vcより高い電圧を保持する。

【選択図】図1

この「【】」から、この「。」までで、400字以内となるようにする。

2-2 内容についての注意事項

●簡潔、明瞭な記載

- 発明の名称と重複する事項、従来技術に関する事項、自明な事項は記載しない。

(好ましくない記載例)

「従来技術では・・・」、「本発明は・・・」

- 要約書のみで発明の概要が理解できるよう、他の文献や項目を引用した記載はしない（選択図の引用は可能。）。

(好ましくない記載例)

「特願○○○○-○○○○○○の問題を解決する」

「特許請求の範囲に記載のように」

- 外国語からの翻訳の場合、逐語訳とならないように、わかりやすい日本語を用いる。

2-2 内容についての注意事項

●使用する用語・文字

- 用語は明細書、請求の範囲及び要約書全体を通じて統一する。文字はできるだけ全角で統一する。
- 登録商標は、それを使用しないと物を特定できない場合に限り使用し、使用する場合は (登録商標) など登録商標であることを明示する。例えば、「i P a d (登録商標)」など。
- 公序良俗に反したり、発明の技術的事項と関係なく宣伝
- 広告目的となる用語・表現を用いない。
- 英語に翻訳され、P A Jとして提供されるので、主語や目的語などの省略をなくし、翻訳が容易な文章とする。

2-2内容についての注意事項

●【課題】について

- 解決すべき課題を具体的に記載する。
従来の問題点ではなく、どのようにしたいのかを記載。
（例）×「従来の電池は性能が悪かった。」
→○「電池の瞬時放電電流を低減する。」
- 【課題】と【効果】は表裏一体。【課題】の欄を設ける代わりに【解決手段】の後に【効果】の欄を設けてもよい。

●【解決手段】について

- 実施例に則して具体的に記載する（請求の範囲の内容をそのまま記載しない）。
- 選択図がある場合には、括弧（ ）で囲まずに選択図中の符号を対応する構成の後に記載。例えば、「エンジン3」。

2 要約書作成のポイント

好ましくない例

- 【課題】、【解決手段】等の表現で項分けされていない。

- 「請求項1」を引用しており、要約書の記載のみでは理解できない。

- 符号を（ ）を用いて記載している。

【書類名】要約書

【要約】

【発明の概要】

一般に市場に出回っている従来の消臭剤は、さまざまな悪臭成分が混在しているような悪臭に対しては効果が薄かった。本発明の消臭剤は、請求項1に記載されているような態様で、さまざまな悪臭成分に対応する消臭剤(1、2、3)を容器(4)に充填することにより、悪臭成分が混在した悪臭に対しても効果を発揮するものである。

。【選択図】図1

- 「従来の」、「本発明の」等の表現を使用している。

2 要約書作成のポイント

好ましい例

• 【課題】、【解決手段】と項分けされ、具体的に記載されている。

• 符号について（ ）を用いることなく記載されている。

【書類名】要約書

【要約】

【課題】酸性臭気成分とアルカリ性臭気成分と中性臭気成分とが混在した悪臭に対しても有効な消臭剤を提供する。

【解決手段】酸性臭気成分用の消臭剤1、アルカリ性臭気成分用の消臭剤2、中性臭気成分用の消臭剤3をこの順序で下方から上方へと積層して容器4に充填する。

【選択図】図1

1 要約書の概要

2 要約書作成のポイント

2-1 様式についての注意事項

2-2 内容についての注意事項

3 技術分野別のポイント

(1) 機械分野

(2) 化学分野

(3) 電気分野

(1) 機械分野 —構造—

- 各構成要素をただ羅列するのではなく、どのように機能・動作するのかがよく分かるように記載

【要約】

【課題】洗濯機の脱水機やミシン等の回転体のブレーキとして、耐熱性が大きく、かつ均一に磨耗するブレーキシュー構造を得る。

【解決手段】ブレーキレバー5に固着したブレーキシュー4を多層構造とする。ブレーキホイール6に接触する側は熱硬化性樹脂からなるライニング部11をもつ。ライニング部11を保持するブロック部12は熱可塑性樹脂を用いる。ライニング部11の先端がブレーキホイール6に接触し、摩擦力によってブレーキシュー4に巻き込み力が生じる。このとき、弾力性のあるブロック部12が変形し、ライニング部11がブレーキホイール6の全面に強く当てられて制動がかかり、大きなブレーキ力が得られる。

【選択図】図1

どのように
機能・動作する
か良く分かる

(1) 機械分野 —流れ—

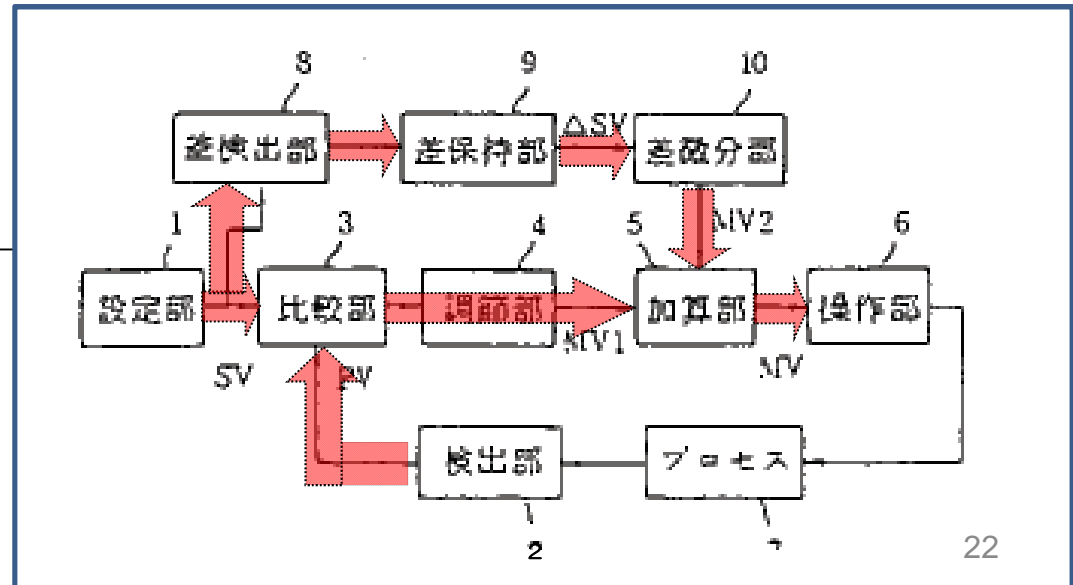
- 空調機器や油圧機械などに関する発明
流体の流れを追うように記載
- 油圧制御や電子制御に関する発明
油や信号の流れを追うように記載
- 搬送装置に関する発明
搬送物の流れを追うように記載

【要約】

【課題】定常時の制御性を損なうことなく、設定値変更時の応答性を向上させる。

【解決手段】設定部1からの設定値SVと検出部2からの測定値PVから偏差信号を求める。調節部4はこの偏差信号にPID演算を施し、出力信号MV1を求める。差検出部8は設定値SVの変更の幅、変更の増減方向を検出して差保持部9に出力する。差微分部10は差保持部9の出力 ΔSV を微分して出力信号MV2を求める。加算部5は出力信号MV1、MV2を加算して出力信号MVを操作部6に出力する。設定値変更がある場合のみ差微分部10の出力信号MV2が重畳されるので、定常時の制御性を損なうことなく、設定値変更時の応答性が向上する。

【選択図】図8



信号の流れを追うような記載が好ましい。

(2) 化学分野 —化学構造式—

- 複数の化学構造式が明細書中に記載されている場合、特徴を最もよく表す化学構造式を要約書中に記載
- 構造が複雑な物質は、イメージを使ってできるだけ化学構造式で記載

イメージの
大きさに注意！

イメージを記載する方法

【要約】

【課題】○○○○○○○○。

【解決手段】○○○○○○○○、○○○○○○○○。○○○○
○○、○○○○○○○○。○○○○○○○○、○○○○○○○○
○○○○。

化学式や数式等のイメージ

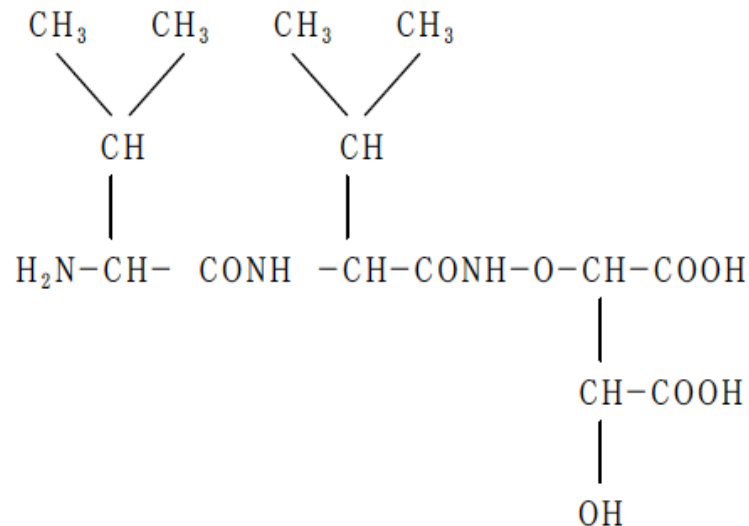
○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○。

【選択図】なし

技術分野別要約書例(要約例20) P31

【要約】

【解決手段】ダクチロスポランギウム(Dactylosporangium)属に属する微生物を培養して、



構造が複雑な物質は
化学構造式で記載

で表される抗生物質SF-23392を製造する。

【効果】グラム陽性菌及びグラム陰性菌に対する抗菌剤として優れている。

【選択図】なし

(2) 化学分野 —略称・マーカッシュ形式—

- 化合物の名称が複雑な場合、名称の後に括弧付きの略称名を付し、以下、略称を用いて記載可能

(例) 「ポリエチレンテレフタレート (PET)」

- 化合物の種類が多い場合、マーカッシュ形式で記載

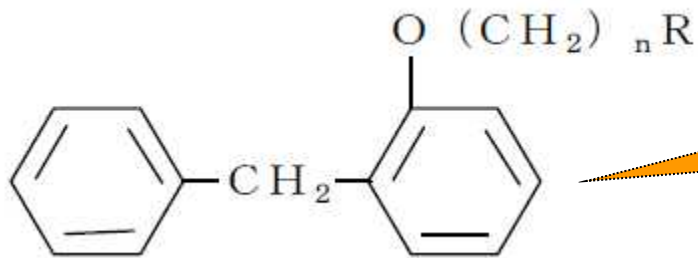
(例) R-OH

(Rは、炭素数1～4のアルキル基を示す)

技術分野別要約書例(要約例 1 4) P27

【要約】

【解決手段】式



マーカッシュ形式

【n; 4又は5、R; アミノ基、C1～C5のアルキルアミノ基、モルホリノ基、1-ピペリジル基又は4-メチル-1-ピペラジニル基】で表される2-(ω -アミノアルコキシ)ジフェニルメタン化合物、及びそれを含有する抗うつ剤。

【効果】この化合物は強い抗レセルピン作用を有し、かつ毒性が低いため抗うつ剤として有用である。

【選択図】なし

(2) 化学分野 —塩基配列—

- 塩基配列やアミノ酸配列に特徴がある発明

由来、製法、生化学的機能を記載

必要に応じて配列等の事項を記載

配列表は選択図には採用できない

技術分野別要約書例(要約例21) P32

【要約】

【解決手段】菌体外酵素 α -アミラーゼを生産するバチルス・ズブチルス(*Bacillus subtilis*)NA64株の染色体から、下記の配列;

```
ATG TTT GCA AAA CGA TTC
AAA ACC TCT TTA CTG CCG
TTA TTC GCT GGA TTT TTA
TTG CTG TTT TAT TTG GTT
CTG GCA GGA CCG GCG GCT
GCG AGT GCT GAA ACG GCG
AAC AAA TCG AAT GAC
```

配列

で表される α -アミラーゼのシグナルペプチドをコードするDNAを単離した。

【効果】このDNAを外来遺伝子の直前に接続し、枯草菌中で遺伝子を発現することにより、遺伝子産物を効率よく菌体外に分泌させることができる。

【選択図】なし

配列表は選択図には
採用できない

(2) 化学分野 —その他—

- 高分子、合金、塗料等の組成物や混合物の発明
配合成分、配合割合、有効成分、用途を記載
- 化合物や組成物の製造方法、処理方法の発明
配合成分、触媒、反応触媒、反応条件を記載
- 化学プロセスの発明
物質の流れを選択図に基づいて記載

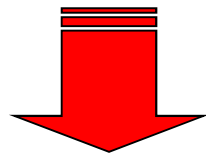
(3) 電気分野 一回路

- 回路関連技術の発明

素子や回路間の接続状態を記載するのではなく、回路の動作や信号の流れが分かるように記載

(例)

「トランジスタ $T r_1$ のコレクタをトランジスタ $T r_2$ のベースに接続し・・・」



「トランジスタ $T r_1$ がオンするとトランジスタ $T r_2$ がオフし・・・」

(3) 電気分野 一回路

- パルス回路の発明の場合
1つの図面中に回路図と波形図が描かれた図面を選択
- デジタル回路の発明の場合
1つの図面中に回路図とタイムチャートが描かれた図面を選択
- 通信方式の発明の場合
機能が分かるように作動的に記載

(3) 電気分野 —ソフトウェア—

- コンピュータ・ソフトウェアの発明
 - (a) 装置や機能ブロックに特徴がある場合
 - 【解決手段】 → 処理・手順
 - 【選択図】 → 装置構成図又は機能ブロック図
 - (b) 処理・手順に特徴がある場合
 - 【解決手段】 → 処理・手順、アルゴリズム
 - 【選択図】 → 処理・手順を示したフローチャート

解決手段には
処理・手順を記載するのが好ましい

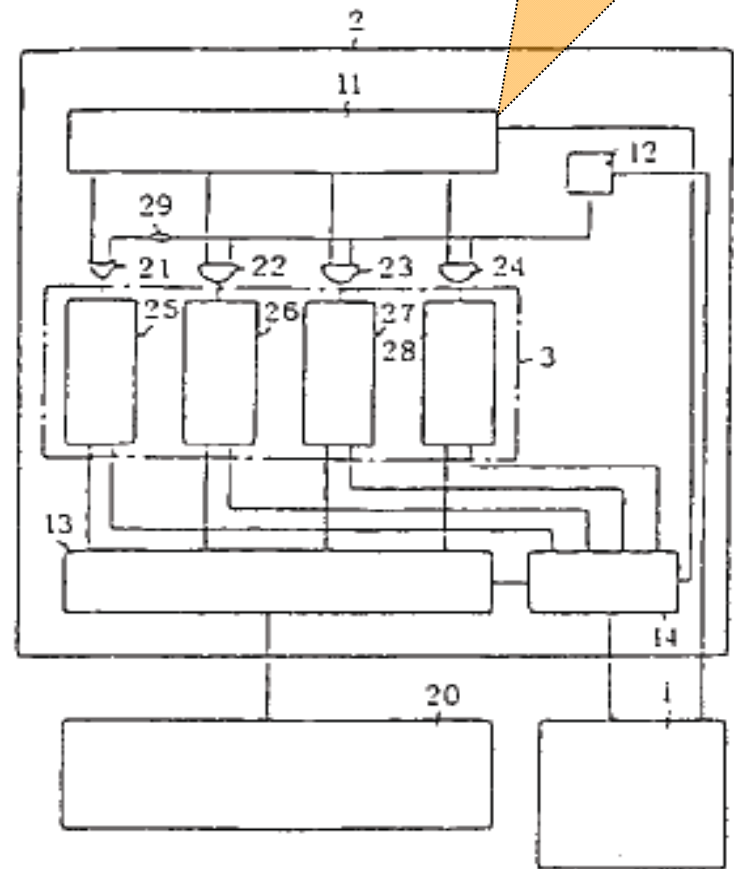
選択図には
ブロック図を

【要約】

【課題】大量のデータを転送してもバッファメモリ上の有効な情報を失わせない。

【解決手段】主記憶装置アクセス制御部13は、主記憶装置20よりの読出要求により、バッファメモリ3上に存在しないデータを主動作部データ制御回路14に送る。このデータは、主動作部1とメモリ3に送られる。主動作部1の指示により、固定指示回路12はバッファメモリ25～28からなる複数のセットのうち、メモリ25の指示を行う。この指示回路12は、通常動作において置換アレイ11が指示するセットを無視して、メモリ25にデータを転送する。

【選択図】図1



迅速・的確にポイントを
把握しやすい要約書となるよう
ご協力よろしく申し上げます。